



【連絡先】
〒633-0064 桜井市戒重57
電話・FAX 0744-43-9288
https://tsuchiayasuoki.com

桜井市議会議員 やすおき つちや靖起

活動報告 第71号

求め続けた 市民会館再開

既存建物解体の意向 市長初言及

市民が求める市民会館創造と効率化を訴え

耐震性がなく休館したままで今後の見通しが立っていない市民会館について、桜井市議会の土家靖起は、再開を求めて活動を行ってきました。市議会9月定例会の私の一般質問に対して市長は、既存建物を解体する意向を初めて言及し、令和8年度までに解体を終える方針を打ち出しました。私は既存建物の解体除却と、市民が求める新しい時代の市民会館の創造を同時進行して効率化を図ることを強く求めました。

土家

桜井市は相撲発祥の地、仏教公伝の地、芸能創出の地、万葉集発祥の地と、古くから連綿と受け継がれてきた貴重な伝統文化が数多く残されている。

そんな中、市民会館は市内の文化施設としては一番大きく、中南部に位置する立地条件の良さから、市民のみならず市外の人の利用も多かった。耐震性がなく休館は致し方ないことと理解もするが、いつまでも今のような手つかずのままに放置するのか。何度も質問に取り上げ、今後について早急に結論を出す必要があると考えるが、どうか。

市長

市民会館と隣接する中央公民館の今後については、プロジェクト会議をこれまで8回重ね検討を継続している。市民会館は、解体除却に向けてアスベスト調査を行うことを決めた。この費用

については、市議会9月定例会の補正予算案に計上する(可決)。

土家

市民会館の安全性を優先した解体除却の方向性を市長の決断で決められたことは評価する。一方で本来であれば、プロジェクト会議で審査し、そして中期財政計画に計上し、政策会議に諮って予算化していくのが過程。今回の市民会館の解体除却は中期財政計画に盛り込まれていない。どのような政策形成過程だったのか。

市長

市民会館の解体除却の費用については、通常の建築物と異なり、ホールという大空間を持った建築物であることから、具体的な工事手法とそれに伴う積算に一定の時間が掛かった。早く中期財政計画に入りたいという思いはあったが、これらの事情で遅くなった。

しかし「進めなくては」との思いの中、プロジェクト会議には「早く解体の予算を組めるスケジュールを」と、私の方から指示をした。

土家

市民会館はI s値0.19で、大規模震災の振動で倒壊、崩落の危険性が高い。一日も

早い解体除却が望まれるが、いつごろから工事を着手していくのか。

市長

市民会館の解体除却は実施設計を経て入札。事業者を選定した後に工事の着手になる。今後、解体除却に向けたプロジェクトチームにおいて、具体的な計画とスケジュールの検討を行う予定。今のところ工事の開始時期を示すことはできないが、財源として国の「除却債」を活用することから、その期限である令和8年度中に解体工事が終了するように工事の開始時期を考えていきたい。

(2面に続く)



市民会館解体除却 今後のスケジュール

プロジェクトチームで具体的な計画とスケジュールの検討

実施設計を経て入札

事業者を選定した後に工事の着手 (開始時期は未定)

国の「除却債」期限の令和8年度中に解体工事終了



解体除却中、中央公民館休館 利用できる代替施設を要望

土家 市民会館の解体除却の
工事期間中は、隣接する
中央公民館の運営はどうか。

教育長 中央公民館の利用者
の安全を確保するとい
う点から、休館せざるを得ないと考
えている。市民会館の除却、中央公民館
の耐震改修工事を合わせて2年以上
掛かると想定している。

土家 市民会館の解体除却、
中央公民館の耐震改修を同
時に工事を行うなど、市民生活への影
響を最小限にする工夫を求めると
もに、休館中、中央公民館の利用者の

代替施設を確保するように求める。
市民の皆さんは市民会館の再開、復
興を待ち望んでいる。解体除却後、施
設を500人から600人程度の規
模の複合施設の検討もし、一日も早い
再開を願いたい。

市長 市民フォーラムをはじ
め、さまざまな機会を通
じて市民会館の再開を望む意見を
いただいている。再開に向けた検討を進
めていく必要があると私も考えてい
る。解体除却を進めながら、先進地の
事例も研究しながら、新たな市民会館
に求められている機能、適正機能、工
事手法について検討し、早期に再開を
実現できるよう努力したい。

5年目と比較して、自主防災組織の増
減はどうか。

市長公室長 自主防災組織の
数は順調に伸びて
いたが、コロナ禍で伸びが鈍化して
いる。平成30年度末は63団体だった
が、現時点で64団体。5年間で1団体
が増加したのみになっている。

土家 コロナ禍で取り組みや
活動も難しかったと思わ
れるが、自主防災組織の支援について
市はどのように取り組んでいるか。

市長公室長 育成補助金の交
付、資材・機材の
助成や貸与、組織が実施する防災訓
練の支援などを行っている。今後も
継続的な活動支援を行っていき

土家 災害時の拠点となる新
庁舎の防災力や機能はど
うなっているか。

のようになっているか。

総務部長 大災害でも防災拠
点として継続使用で
きるよう、免震構造の建物になってい
る。庁舎電力の多重化として、電力会
社から異なる変電所からの本線、予備
線の引き込みや、72時間運転が可能
な非常用発電機を設置している。電気と
水が止まった場合でも、3日間は浄水
やトイレの洗浄水として使用するこ
とが可能になっている。

土家 大規模災害時、支援が必
要になる「要支援者」の名
簿作成はどのようになっているか。

福祉保健部長 要支援者名簿
の配布にまで至
っていないが、毎年名簿の更新を行っ
ており、今年度の名簿が完成した後、
自主防災組織と協力いただける地域
の皆様への名簿の配布を目指してい
きたい。

土家 大規模災害が発生し、
避難所での感染症対策が
重要。市の取り組みは。

土家 大規模災害が発生し、
避難所での感染症対策が
重要。市の取り組みは。

市長公室長 体調不良者への
検温、発熱者の居
住スペースは他の避難者と距離を空
けるなど、基本的な感染症対策を継続
するとともに、避難所以外への分散避
難なども啓発していく。

土家 市の地域福祉計画など
では「防災ボランティア
センターの立ち上げと運営」が明記さ
れているが、この取り組みの現状は。

副市長 センターの設立に向
け、調査研究の継続を
支持している。一日も早いボランティ
アセンターの設立に向け、市社協や施
設の管理者、関係機関と連携を行い、
財政支援も含めて必要な調整に努め
たい。

防災の意識向上へ

形骸化する災害訓練のテコ入れを

大正12年に発生し、10万人以上の死者・行方不明者を出した関
東大震災から、今年で100年の節目を迎えました。市議会9月定
例会の一般質問では、市民会館の再開を求めたほか、年々、激甚化、
頻発化する気象災害に備えた市の取り組みについて取り上げ、形
骸化している訓練へのテコ入れを求めました。また、市の防災力向
上に向けた諸施策について質問しました。

土家 今年は関東大震災から
100年の節目にあた
り、国や各自治体では、防災への意識
向上や啓発活動が多く見られるが、
市の令和5年度の予算を見る限りそ
れらの事業はない。

新庁舎では7月10日に訓練が行わ
れたが、規模は小さくしているだけ
の訓練になっている。市全体の防災
力を向上させるためには、予算をか
けなくともできることはある。
幾度から実施してきた職員の参集
訓練などを再度行つてはどうか。

市長 勤務時間外に大規模災
害が発生した場合に備
え、円滑な災害対策本部の設置と初動
体制の確立などを行う職員の参集訓
練については、令和元年度に実施して
以来、コロナ禍によって実施を見合
わせており、令和2年度以降は参集指
示のメールへの応答により、通信訓練に
切り替えている。新型コロナが感染症
法上の位置付けが5類に移行したこ
とから、今後は実施を検討したい。

土家 地域コミュニティが希
薄化する中、コロナ前の



新庁舎は大災害時でも防災拠点として継続使用ができる

ごあいさつなどは議員活動を優先させていただきますため、略させていただきます。
市民の皆さまにはご了承の程、よろしくお願い申し上げます。

つちや靖起

現職 桜井市議会議員
桜井市ソフトボール協会顧問
戒重区顧問
桜井西地区社会福祉協議会会長
NPO法人ひかりの森理事
奈良県市町村職員年金者連盟桜井支部長

主な経歴 桜井市市長公室長
平成15年桜井市議選初当選
平成19年桜井市議選2選
平成23年桜井市議選3選
平成24年桜井市議選4選
平成27年桜井市議選5選
平成31年桜井市議選

市政に対する要望・ご意見・ご提言をお寄せ下さい。

633-0064 桜井市戒重57 電話・FAX 0744-43-9288 <https://tsuchiayasuki.com>